

# 聖母の小さな学校 通信

京都府教育委員会認定フリースクール  
聖母の小さな学校  
2024年  
4月8日発行  
1学期始業式号第271号

## さあ始めよう！わたしの歩みを！

桜の花も咲き、芽吹く緑の中に、大地の息吹を感じる頃となりました。平素は聖母の小さな学校の教育に格別のご理解、ご協力をいただき、感謝申し上げます。

本日より、2024年度を始めます。本校に通う生徒たちは、どちらかという引きこもり傾向に陥ってしまい、家から出にくくなっている生徒が多いです。そういう生徒のためのプログラムを組んでいます。このプログラムによって、社会的自立（原籍校復帰を含む）をはかってゆきます。その中には、多くの体験学習が含まれています。その体験学習は、本校35年の歴史の中で培われ、協力して下さる市内の小中学校の先生方（10名程）と生徒の教育にあたりながら必要な改善を行ってきたものです。どの体験学習をとっても、生徒たちがその体験を通して教育を「肌で感じ」、成長してゆくものになっています。このような体験学習と日々の学習によって、生徒は①自分の不登校に出会う②そこに見える自分自身の特質に出会う、そして③他者と関われる力を得る こととなります。

保護者は①混乱していた状態を整理する②ありのままの自分と自分の子どもを客観的に捉える③困っている状態を受け止めて、変化の少ない日々を丁寧に暮らす④聖母と原籍校と力を合わせ、子どもと共に成長してゆく。それを聖母は個人面談と毎月の保護者会等で支えてゆきます。

また本校としては、従来通り、京都府教育委員会とは、研究委託を受けながら社会に対して不登校の理解が広がるように、又、教育の喫緊の課題である不登校ですので、教育現場においても不登校児童生徒への活発な教育活動が展開されることが望まれます。それを支えたいと思います。

舞鶴市において原籍校は聖母での様子を報告することにとどめず、昨年度同様に、その都度、必要に応じた報告連絡、毎月の学年主任、担任、教育相談等との連絡会を実施し、双方での教育活動が活発化するよう取り組みます。特に当市では、上記の保護者会、連絡会について、令和5年度より「舞鶴市児童生徒保護者交流業務」「舞鶴市不登校支援アドバイザー業務」として本校への委託がおります。昨年度に増して、市教育委員会との連携を密にし、不登校の児童生徒の教育にあたりたいと思います。併せて、コロナ禍以来急増している不登校の約4割の子どもたちが教育の機会を持っていません。それらの子どもたちへも働きかけ、子どもが成長できる適切な教育の場へつなげたいと思います。

今年度も、多くの先生方にお世話になります。どうぞ、よろしく願いいたします

### <今年度お世話になる先生方>

陶芸（高井 晴美 先生）	体育（渡邊 弘 先生）	華道（山中 知昌 先生）
音楽（北浦 弘治 先生）	数学（江宮 文夫 先生）	歴史・校外学習（山下 正 先生）
ウズベキスタン文化（アシルベク先生）		英会話（キレン 先生）
行事（大久保 喜基 先生・笠原 昌明 先生）		

### <今月の主な行事>

8日（月）1学期始業式	17日（水）・23日（火）陶芸教室
12日（金）ハイキング	18日（木）英会話
15日（月）ギター教室	19日（金）・26日（金）数学
16日（火）ウズベキスタン文化	25日（木）体育

### 《余録》

今年度、英会話でシンガポール出身のキレン先生が月1回来られます。また、毎週1回、江宮先生の「数学」が入ります。この授業は、数学ができるようになるだけのものではありません。数学を通して、人間としての基本的な思考を養うと共に、思い方（感情）が正しく湧き出してくるためのもので、素直な人間力を得るものです。期待しています。